



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 丸紅建材リース株式会社
 コード番号 9763 URL <https://www.mcml-maruken.com/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名) 栗山 章司
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役 (氏名) 井ノ上 雅弘
 四半期報告書提出予定日 2020年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	9,103	△9.0	315	93.3	537	62.3	422	61.4
2020年3月期第2四半期	9,999	△5.8	163	△66.9	331	△48.5	261	△47.0

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 440百万円 (82.8%) 2020年3月期第2四半期 241百万円 (△49.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	126.70	—
2020年3月期第2四半期	78.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	32,144	14,394	43.3
2020年3月期	33,164	13,694	41.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 13,902百万円 2020年3月期 13,694百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	70.00	70.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,200	△5.6	680	1.6	1,110	0.6	845	8.2	253.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期2Q	3,429,440株	2020年3月期	3,429,440株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	96,421株	2020年3月期	96,364株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期2Q	3,333,045株	2020年3月期2Q	3,333,243株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年9月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の終息時期が見通せず引き続き厳しい状況にありましたが、社会・経済活動の段階的な引き上げにより一部に持ち直しの動きが見られました。

当社グループが属する建設業界におきましては、同感染症の影響による工事進捗への影響は限定的であるものの、新規着工や開発計画等の中断・延期により新規案件の減少が見られ、今後の受注競争の激化が懸念されます。

このような環境下、当社グループでは昨年度からスタートした中期経営計画に沿って、国内収益基盤整備として工場の機械化・自動化・安全設備導入を進める一方、海外展開として同感染症拡大の影響で手続きが遅れていた中国における重仮設合弁事業への参入は、8月中旬に第三者割当増資の払い込みが完了しました。

以上の結果、当第2四半期の業績は、売上高91億3百万円(前年同期比8億95百万円、9.0%減)、営業利益3億15百万円(同1億52百万円、93.3%増)、経常利益5億37百万円(同2億6百万円、62.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益4億22百万円(同1億60百万円、61.4%増)と前年同期比で減収増益となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① 重仮設事業

賃貸稼働量・販売量ともに前年同期比で減少となり、売上高は72億70百万円(前年同期比6億60百万円、8.3%減)となりましたが、コスト削減や採算性の向上に努めた結果、セグメント利益は5億71百万円(同1億68百万円、42.0%増)となりました。

② 重仮設工事事業

受注済み工事案件の進捗遅れ等の影響により、売上高は12億25百万円(同46百万円、3.7%減)となりましたが、セグメント利益は子会社丸建基礎工事㈱の採算改善もあり1億1百万円(同35百万円、54.6%増)となりました。

③ 土木・上下水道施設工事等事業

工場プラント工事の低迷により売上高は6億6百万円(同1億89百万円、23.8%減)となり、低採算案件の完工の影響もあり、セグメント損失は5百万円(同38百万円、117.4%減)となりました。

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、中国の瑞馬丸建(安徽)工程支護科技有限公司への第三者割当増資などの投資その他の資産の増加額13億94百万円と、受取手形及び売掛金の減少額14億79百万円、電子記録債権の減少額2億32百万円、建設機材の減少額3億60百万円などにより、前期末比10億20百万円減の321億44百万円となりました。

負債合計は、借入金の増加額1億95百万円と支払手形及び買掛金の減少額16億88百万円、電子記録債務の減少額3億86百万円などにより、前期末比17億20百万円減の177億49百万円となりました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益4億22百万円の計上による増加額、非支配株主持分4億92百万円の計上による増加額と、配当金2億33百万円の支払による減少額などにより、前期末比7億円増の143億94百万円となり、自己資本比率は2.0ポイント増の43.3%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、8億9百万円（前年同期比5億14百万円の収入増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益5億37百万円の計上による増加、売上債権の減少額17億12百万円による増加及びたな卸資産の減少額5億65百万円による増加と、仕入債務の減少額20億69百万円による減少などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、△9億55百万円（前年同期比8億46百万円の支出増）となりました。これは主に、中国の瑞馬丸建(安徽)工程支護科技有限公司への第三者割当増資などの投資有価証券の取得による支出7億40百万円と、当社工場設備更新を中心とした有形固定資産の取得による支出2億12百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、△56百万円（前年同期は5億25百万円の収入）となりました。これは主に、借入金の増加1億95百万円と配当金の支払2億32百万円によるものであります。

以上の結果、当第2四半期末の現金及び現金同等物は、前期末比2億2百万円減の19億86百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期の業績は期初予想通り進捗しており、現時点において、2020年5月13日公表の2021年3月期の通期連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,189	1,986
受取手形及び売掛金	6,351	4,871
電子記録債権	1,716	1,483
建設機材	9,791	9,431
商品	731	524
材料貯蔵品	255	253
未成工事支出金	36	77
その他	252	221
貸倒引当金	△63	△67
流動資産合計	21,260	18,781
固定資産		
有形固定資産		
土地	8,027	8,027
その他(純額)	1,132	1,198
有形固定資産合計	9,159	9,225
無形固定資産	11	10
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	67	79
その他	2,692	4,075
貸倒引当金	△27	△27
投資その他の資産合計	2,732	4,127
固定資産合計	11,903	13,363
資産合計	33,164	32,144

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,054	4,365
電子記録債務	1,554	1,168
短期借入金	3,700	3,700
1年内返済予定の長期借入金	1,580	1,680
未払法人税等	64	137
引当金	219	234
その他	1,578	1,677
流動負債合計	14,751	12,964
固定負債		
長期借入金	3,655	3,750
退職給付に係る負債	25	22
その他	1,038	1,013
固定負債合計	4,719	4,785
負債合計	19,470	17,749
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,651	2,651
資本剰余金	924	924
利益剰余金	8,136	8,325
自己株式	△136	△136
株主資本合計	11,576	11,765
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	200	233
土地再評価差額金	1,975	1,975
為替換算調整勘定	△15	△48
退職給付に係る調整累計額	△42	△22
その他の包括利益累計額合計	2,118	2,137
非支配株主持分	-	492
純資産合計	13,694	14,394
負債純資産合計	33,164	32,144

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	9,999	9,103
売上原価	8,727	7,629
売上総利益	1,271	1,474
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	488	524
福利厚生費	119	129
地代家賃	89	88
退職給付費用	7	5
賞与引当金繰入額	137	165
貸倒引当金繰入額	-	22
その他	266	222
販売費及び一般管理費合計	1,108	1,158
営業利益	163	315
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	18	15
持分法による投資利益	144	188
その他	41	46
営業外収益合計	203	250
営業外費用		
支払利息	24	23
その他	11	5
営業外費用合計	35	28
経常利益	331	537
税金等調整前四半期純利益	331	537
法人税、住民税及び事業税	43	122
法人税等調整額	26	△6
法人税等合計	69	116
四半期純利益	261	421
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	-	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	261	422

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	261	421
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△38	32
退職給付に係る調整額	△0	18
持分法適用会社に対する持分相当額	18	△32
その他の包括利益合計	△20	19
四半期包括利益	241	440
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	241	441
非支配株主に係る四半期包括利益	-	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	331	537
減価償却費	100	116
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△12	△17
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△2	△3
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△13	4
受取利息及び受取配当金	△18	△15
支払利息	24	23
持分法による投資損益(△は益)	△144	△188
売上債権の増減額(△は増加)	1,532	1,712
たな卸資産の増減額(△は増加)	95	565
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,071	△2,069
未払消費税等の増減額(△は減少)	△20	△30
引当金の増減額(△は減少)	△38	15
その他	△311	166
小計	451	816
利息及び配当金の受取額	51	81
利息の支払額	△23	△22
法人税等の支払額	△184	△77
法人税等の還付額	-	11
営業活動によるキャッシュ・フロー	294	809
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△0	△740
有形固定資産の取得による支出	△101	△212
その他	△6	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△109	△955
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,000	-
長期借入れによる収入	600	1,000
長期借入金の返済による支出	△855	△805
リース債務の返済による支出	△20	△19
配当金の支払額	△199	△232
その他	0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	525	△56
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	711	△202
現金及び現金同等物の期首残高	665	2,189
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,377	1,986

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	重仮設	重仮設工事	土木・上下水 道施設工事等	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,930	1,272	795	9,999	—	9,999
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	7,930	1,272	795	9,999	—	9,999
セグメント利益	402	65	32	500	△337	163

(注) 1 セグメント利益の調整額△337百万円は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	重仮設	重仮設工事	土木・上下水 道施設工事等	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,270	1,225	606	9,103	—	9,103
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	7,270	1,225	606	9,103	—	9,103
セグメント利益又は損失(△)	571	101	△5	667	△351	315

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△351百万円は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。